

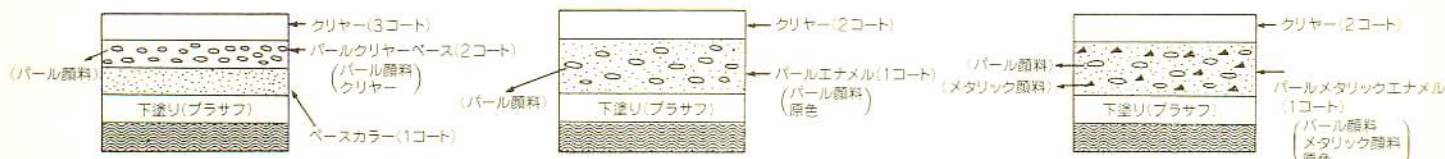
1 パール塗装の種類と塗膜構造

パール塗装は、特殊なパールマイカ顔料を用いて構成する塗色の塗装で、3コートパール塗装(3P)、2コートパール塗装(2P)、2コートパールメタリック塗装(2PM)の3種類の塗装工程があります。色調はメタリック塗色と異なりパール顔料特有の反射光により、深味のある独特の色あいをかもしだします。

3コートパール塗装(3P)

2コートパール塗装(2P)

2コートパールメタリック塗装(2PM)

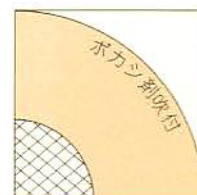


2 パール塗装の補修方法

2-1 3コートパールの補修

① 下地処理、調整

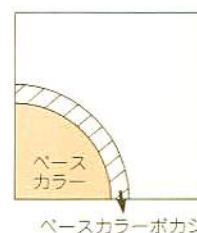
1) 研 磨 ブラサフ、旧塗膜を#600耐水ペーパーで水研ぎ研磨。	2) 足付け クリアーのボカシ予定部分は、細目コンパウンドで均一に足付け処理。 ※全塗装・ブロック塗装は省く	3) 脱 脂 ワックスリムーバーで十分に脱脂、清掃。	4) ボカシ剤塗装 ボカシ剤をクリアー仕上げする範囲まで均一に塗装。 ※全塗装・ブロック塗装は省く
--------------------------------------	--	-------------------------------	---



② ベースカラーの塗装

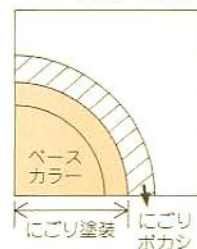
1) 捨て吹き ブラサフ部を中心に軽くうすめに塗装しハジキの確認をする。	2) 色ぎめ 3~4回に分け、スケのないように塗装する。	3) ボカシ塗装 色ぎめに使った塗料にシンナーを50~100%加え徐々に塗装面積を広げながら塗装(5cm位のフェザーエッジを作る感じ。乾燥するとツヤがボカシ部に向かって徐々になくなる状態) ※全塗装・ブロック塗装は省く	4) 乾 燥 自然乾燥の場合、20~30分位。強制乾燥の場合、セッティング5~10分後に加熱、60℃ 10~15分。
---	---------------------------------	---	---

ベースカラーの調合	ベースカラー：硬化剤：シンナー
ポリオート	100 : 25 : 60~70
アルティマ 2K	100 : 10 : 60~70
SPオート	100 : 15 : 60~70



③ パールクリアーベースにごり塗装 ※全塗装・ブロック塗装は省く

1)にごり塗装 希釈調合済みのパールクリアーベースの一部を取り、パールクリアーベース：ベースカラー=90：10に混ぜ合わせ、ベースカラー塗装部分より少し広げて1~2回塗装する。	2)ボカシ塗装 にごり塗装に使った塗料にシンナーを50~100%加え徐々に面積を広げながら塗装。(3~5cm位のフェザーエッジを作る感じ)
---	--

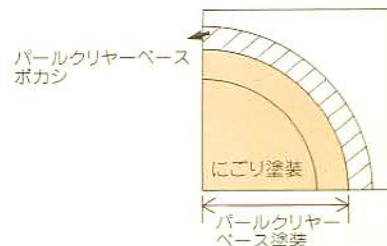


④ パールクリアーベース塗装

1)色ぎめ にごり塗装ボカシ部よりやや広めに2~4回に分けて吹き付ける。 ●調色時比色した時と同じ条件でパールクリアーベースを塗装する。 ●毎回、指触乾燥程度の塗装間隔を取る。 ●パールクリアーベースは隠れベイカがなく、泳がせる(ムラ)と修正しにくいので注意。 ●パールクリアーベースは、5分ツヤ程度を目安に吹きつける。 ※全塗装・ブロック塗装は省く	2)ボカシ塗装 色ぎめに使った塗料にシンナーを50~100%加え、徐々に面積を広げながら塗装。	3)乾 燥 次のクリアーコートまで10~15分間のセッティングタイムを取る。
---	--	---

パールクリアーベース(マルチタイプ)の調合	パールクリアーベース：硬化剤：シンナー
893ライン	ポリオート 100 : 25 : 60~100
パールクリアーベース(マルチタイプ)	アルティマ 100 : 10 : 60~100
	SPオート 100 : 10 : 60~100

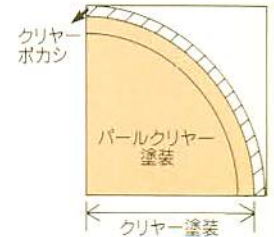
※893ラインパールクリアーベース(マルチタイプ)には、PK-50・PK-40・アイポリー・2Yの4品種があります。オートカラーの中には、この4品種以外のパールを使用する場合がありますが、その場合、オートカラー配合に従いパールクリアーベースコンバーターにパウダーもしくは、リキッドを混入する方法にて塗装して下さい。



⑤ クリヤー塗装

1)色確認	2)色修正	3)クリヤー塗装	4)ボカシ塗装
色合いの確認は、調合済みのクリヤーを均一なツヤになる程度に薄く1回塗装し判定する。OKであれば3)のクリヤー塗装を行なう。	(パール感不足の場合)希釈調合済みのパールクリヤーベースを更にシンナーで2~3倍に希釈しミスト吹きで修正。(パール感が強すぎる場合)薄めに希釈したベースカラーを軽く塗装し、にがり塗装、パールクリヤーベース塗装、クリヤー塗装の順で修正。	色相を合わせた後、クリヤーを数回に分けて塗り込む。(ブロック及びタッチアップの場合、肌を合わせる事に注意)	クリヤー周辺のボカシ部分は、調合済みのクリヤーをボカシ剤で10倍位に希釈し、うすく2~3回吹付けてスプレーダストをなじませ肌を整える。
※全塗装は省く	※全塗装は省く		※全塗装・ブロック塗装は省く

クリヤーの調合	クリヤー：硬化剤：シンナー
ポリオート 2コートクリヤー	80 : 20 : 5~15
アルティマ 2コートクリヤー	100 : 10 : 5~10
SPオート ハイレベルクリヤー	100 : 15 : 5~10



⑥ 乾燥

乾燥条件	セッティング時間	予備乾燥	強制乾燥	自然乾燥
ポリオート	15~20分	40℃・10分	60℃・40分以上	20℃・24時間以上
アルティマ	10~15分	40℃・10分	60℃・30分以上	20℃・5時間以上
SPオート	10~15分	40℃・10分	60℃・30分以上	20℃・5時間以上

⑦ みがき仕上げ

ゴミ付着部や肌あれ部分は、#1200~#1500耐水ペーパーで水研ぎをする。みがき作業は、肌の状態に応じて中目→細目→超微粒子ポリッシングコンパウンドの順に仕上げていく。

2-2 2コートパール・2コートパールメタリックの補修塗装

塗装方法は、従来のメタリック塗装の方法と同じです。ただし、2コートパールの場合、塗装時のパール感合わせに難しさがあります。調色時のテスト吹きと同じ条件で塗装する必要があり、条件(ガンしぼり、エア圧、希釈条件 etc.)を変えるとパール感が異なりますので注意して下さい。

① 下地処理、調整 ● 3コートパール塗装仕様の要領で行なう。

② パールエナメル塗装

1)捨て吹き	2)色ぎめ	3)ムラ消し	4)ボカシ	5)乾燥
ブラサフ部を中心に軽くうすめに塗装し、ハジキの確認を行なう。	一度に厚塗りせず、塗装間隔をとりながら数回に分けてスケのない様に塗装する。(ムラになると直しにくいので注意) 塗装間隔：5~10分	色ぎめに使用した希釈済みのパールエナメルにシンナーを40%位加えて吐出量を少し絞り、パターン幅を $\frac{3}{4}$ 重ねでガンを早めに動かし、1~2回吹付ける。	ボカシ部は、ムラ消しに使用した塗料にシンナーを更に50%位加え、徐々に塗装面積を広げながら塗装。(5cm位のフェザーエッジを作る感じ)	次のクリヤーコートまで10~15分のセッティングタイムを取る。
			※全塗装・ブロック塗装は省く	

パールエナメルの調合	パールエナメル：硬化剤：シンナー
ポリオート	80 : 20 : 60~80
アルティマ 2K	100 : 10 : 80~100
SPオート	100 : 10 : 100~120

③ クリヤー塗装

1)おさえ吹き	2)仕上げ吹き	3)ボカシ塗装
一度に厚塗りせず、うす目に均一に1回塗装し、セッティングタイムを5~10分とする。	数回に分けて、塗り肌を見ながら塗り込み仕上げる。 塗装間隔は5~10分位とする。	クリヤー周辺のボカシ部分は調合済みのクリヤーをボカシ剤で10倍位に希釈し、うすく2~3回吹付け、スプレーダストをなじませ肌を整える。
		※全塗装・ブロック塗装は省く

④ 乾燥 ● 3コートパール塗装仕様の要領で行なう。

⑤ みがき仕上げ ● 3コートパール塗装仕様の要領で行なう。